

平成 29 年度 5 月 SSH 活動記録

テーマ検討会 2017.5.12

1 年生の 11 月頃からグループを決め、グループで探究活動のテーマを探してきました。テーマを早めに決めることができたグループは何度か実験をし、テーマが決まらなかったグループは話し合いを何度かもち、テーマ決定に努力してきました。2 年に進級し、テーマを変更するグループもあったと思います。

この 5 月の早い段階で、琉大の先生方に研究のテーマ、現在までの状況を説明し、専門的な立場からアドバイスをもらう機会が「テーマ検討会」です。琉大の先生方の話を参考に、現在の研究を進めるグループ、または、軌道修正するグループがあったと思います。方向性がしっかりしてきたところで、グループのメンバーで話し合いながら進めていくと良い研究になるでしょう。



物理、数学分野では司会進行は生徒代表が行っていました。ご苦労さんでした。

物理の様子



数学の様子



伊禮教授 特別授業

方陣について（歴史）

ナンプレのような数の並びのゲームは古くからある・・・

「置換」という特別な変換も丁寧に説明していただき楽しく聞くことができました。

運営指導委員会 2017.5.12

本校 SSH の事業を行うにあたり、専門的見地から指導・助言・評価をいただける先生方を運営指導委員といたします。本年度も琉球大学の先生方に委員をお願いしています。その委員会が 5 月 17 日（水）に行われました。委員長には琉球大学 理事・副学長の西田氏が選任されました。



この会にて、貴重なアドバイスをいただきました。

「2年になってまだ間もないせいか、具体的な数値がない、図を使って説明するともう少し分かりやすくなるのだが」・・・という指導や、

「年々良くなっている、考えて質問するようになっている。研究の質が高くなっている」等のうれしい感想もいただきました。

また、「SS クラブに中学生から入れることからいい研究ができるだろう」という将来的なアドバイスもありました。

OIST 科学英語講座 2017.5.25

今回は沖縄科学技術大学院大学 OIST から研究者をお招きし、講演会が行われました。最先端の研究を進めている研究者の話を知ることができる良い機会です。5 月に入って 40 名の募集をかけたところ、中学 1 年生と高校 1 年生の申し込みが早い時期からありました。今年の入学生は意欲満々です。

講師は OIST の学生で、カザフスタン出身のガリフルリナ アイナッシュさん。

本題のテーマは「化学と金属の重要性」でした。一般に、金属というと「硬い」、「ピカピカしている」とのイメージですが、私たち人間の体の中にも存在しているし、抗がん剤など薬品を合成する際に重要な役割を果たしているそうです。生活に欠かせない大切なものなのです。

最後の質疑応答では、生徒の皆さんが英語で質問、お礼の挨拶も英語で行うことができました。

